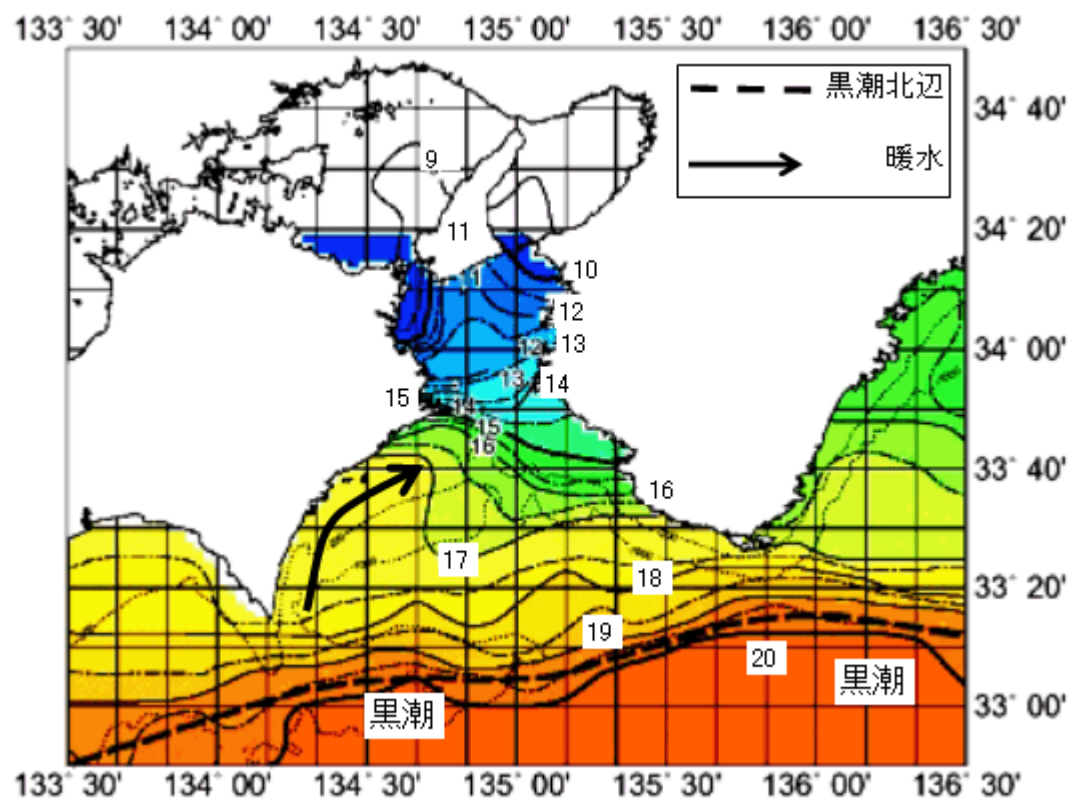


1. 海況の経過



海況

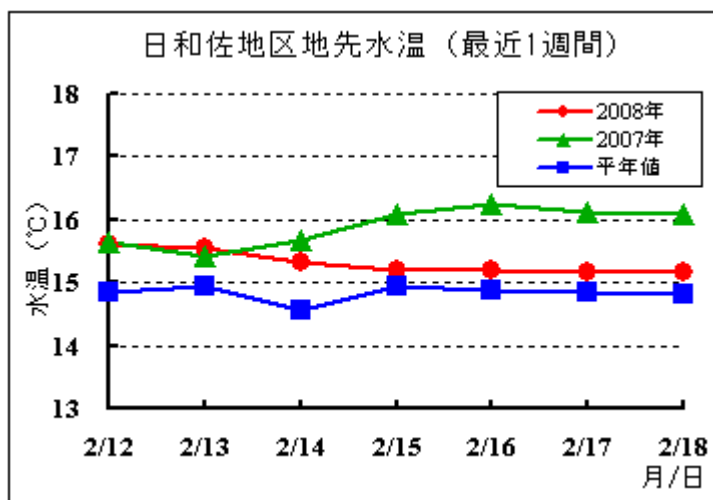
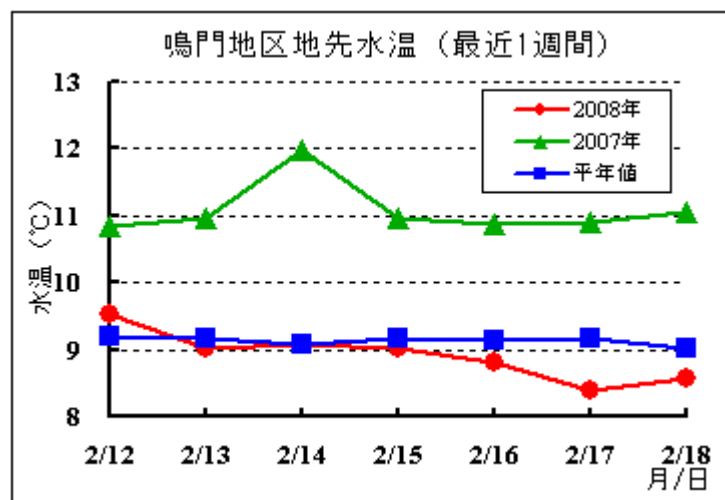
上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.02.18)を示した。黒潮は室戸岬沖でやや離岸し、潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は19～20℃台である。表面水温は播磨灘が8～9℃台、紀伊水道内部が9～14℃台、外域14～17℃台である。先週に引き続き室戸岬沖の黒潮から海部沿岸に沿って暖水が波及している。漁業調査船「とくしま」が2月18日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は各層とも「やや低め」の8.5～8.6℃であった。

播磨灘海区観測結果 (観測日 2008/02/18)

水温	水深				塩分	水深			
	表層	10m	20m	30m		表層	10m	20m	30m
今年値	8.6	8.6	8.5	8.5	今年値	33.3	33.3	33.3	33.3
平年偏差	-0.6	-0.5	-0.6	-0.7	平年偏差	0.6	0.6	0.6	0.5
前年偏差	-1.5	-1.5	-1.6	-1.6	前年偏差	1.0	1.0	1.0	0.9

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の8.4～9.5℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の15.2～15.6℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の15.0～16.2℃で推移した。



## 2. 漁況の経過

**延縄:**海部沿岸で、大主体にアマダイが0.3トン(1日1隻あたり10kg)、トラフグが47kg(同6kg)水揚げされた。

**小型定置網:**海部沿岸で、アオリイカが1.4トン(同44kg)、キビナゴが0.6トン(同22kg)、メジナが0.5トン(同34kg)、小主体にマアジが0.5トン(同16kg)水揚げされた。

**釣り:**海部沿岸で、大、中主体にタチウオが1.3トン(同122kg)、大主体にアオリイカが0.8トン(同8kg)、大主体にカミナリイカが0.3トン(同6kg)水揚げされた。室戸岬側からの強い暖水波及の影響により海部沿岸でタチウオの漁場が形成された。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)02月11日～02月17日 県下6漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	30	314	10	大主体
		トラフグ	8	47	6	
小型定置網		アオリイカ	33	1,449	44	
		キビナゴ	29	630	22	
		メジナ	15	512	34	
		マアジ	29	460	16	小主体
釣り		タチウオ	11	1,341	122	大、中主体
		アオリイカ	100	799	8	大主体
		カミナリイカ	43	263	6	大主体

### 週間予報:

黒潮は、室戸岬でやや離岸し、潮岬沖で接岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや低め」の8℃台、日和佐地先で「平年並み」の14～15℃台で推移する見込み。

### 他県情報:

和歌山県の曳き縄で、ビンナガが31.6トン(1日1隻あたり110kg)、キハダが1.6トン(同5kg)、カツオが1.6トン(同6kg)、釣りで、タチウオが0.3トン(同6kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが2.7トン、サバ類が39.9トン、スルメイカが30.7トン、サンマ8.2トン水揚げされた。

### \*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上